



お知らせ

- スタンプラリー開催中!(12/26まで)
- 第2回ブック・アピール・コンテスト 募集期間6/5~9/30(詳細は裏面)
- 特別展示 「ウィリアム・モリスが手がけた西洋の美しい本6/17~28
- 日経テレコン21・日経BP記事サービス講習会 7/4
- 特別展示 文字の歴史 7/15~8/31
- 試験月(7月・1月)は本学学生・教職員の利用を優先するため、一般利用者の方は、利用をご遠慮ください。

次号発行予定の、9月15日までの行事などについて記載してあります。

節電 -今私たちにできること-

3.11東日本大震災から2年余りが過ぎました。図書館においても震災に関連した館内展示などを行ってきました。特に震災を境として、書架への落下防止装置・AED・緊急地震速報表示装置の設置などを精力的に行いました。同時に震災に伴う電力不足の影響から、節電にも取り組んできました。具体的にはホールなどの照明、学生休暇中の利用者端末の間引きなど、多岐にわたっています。ただ、手のつけることができなかった箇所に「書庫」があります。書庫は図書館職員以外に利用者は比較的少なく、利用者に照明操作をお願いすることを考えましたが、難題が多く、実行できませんでした。しかし書庫に非常灯設置をお願いしてきたこともあり、電気関係を扱う部署との検討の結果、平成25年3月照明に人感セン

サーを設置いたしました。すでに学内各所に設置してあるためご存じとは思いますが、利用者をセンサーが感知すると一定時間照明が点灯します。図書館では点灯後階段3分、書庫30分ほどで消灯します。このセンサーの設置により、節電のみでなく、資料劣化の原因の一つとして言われている照明にあたる時間が少なくなるという効果がありました。図書館では今後も災害対策・節電などに取り組んでまいります。(大平)



誰も読んだことのない奇妙、いえ貴重な本

本学図書館にも、珍しく稀少な本はあるが、その本の存在を知った時には、事実は小説よりも奇なり、という言葉が頭をよぎった。実際、私が記憶するどの小説よりも奇妙な本といえる。普通、本は読まれるものだし、暗号でさえ読み手のために書かれるのに。本とっては正確でないだろうか。ヴォイニッチ手稿 (Voynich Manuscript) と“呼ばれて”いる。読めない文字で書かれているので書名(文中に書かれていたとしても)・内容とも、誰も“読んだ”

ことがないのだ。「ヴォイニッチ」は1912年にそれを入手した古書商の名前。人や植物などの挿絵も多数あるが、文字部分は暗号専門家も解読できず、記述に使用されている言語も、それ自体の由来についてさえ、議論があるそうだ。15世紀から16世紀頃に書かれ、神聖ローマ皇帝所有だったこともあるというそれは、現在、イエール大学バイネキ稀覯本・手稿図書館にある。読みたくなる、でも、読めないことで知られている本のお話。(榊原)

いつやるの？今でしょう！

6月1日より学部学生10冊 大学院生30冊に変更

図書館が発行している印刷物の一つに「Library and Information Center Guide」があります。お気づきの方も多いのではないかと思います。2012年度版より「利用者目録」を編集方針に掲げ、内容を大幅にリニューアルいたしました。本の探し方、借り方などが記載してありますが、本を借り出すときに重要な点は「借り出し利用期間」「借り出し限度冊数」の2点です。幸い本図書館では学部学生1カ月と大学図書館の中では比較的長期間借り出すことができますが、借り出し限度冊数については、必ずしも多いとは言えません。図書館では利用者から

借り出し限度冊数倍増

の要望を踏まえ、借り出し限度冊数について検討した結果、今までの冊数を倍増する計画を立てました。年度の代わりに実施すれば印刷物などの変更は可能ですが、利用者の要望を最優先に考え、年度の途中から実施することとなりました。今まで借りたくてもできなかったみなさん。限度冊数の増えた図書館の本を有効活用してください。あわせて、読み終わった資料の早期返却にご協力をお願いします。利用者区分によっては従来冊数が適用される方もいます。詳細は図書館内各カウンターにてお尋ねください。(藤岡)

第2回ブックアピールコンテスト開催中

「みんなに薦めたい本の魅力をまとめ応募しよう」

みなさんは自分の思いを相手に伝えることができますか？

資格：本学学生および大学院生(聴講生、研究生は除く)。**募集期間：**募集中～9月30日(月)

応募要件：推薦対象書籍は一般書店で入手できる日本語で書かれたもので、ジャンルは自由ですが、コミック(漫画本)、雑誌、映像作品は除きます。

提出要領：①内容は推薦書籍の魅力をまとめたもので、35字以内のキャッチコピーを添えてください。

②字数は800字以上1200字以内(厳守)とします。

③応募用紙に「書名」「著者名」等を記載して、E-mail添付など、デジタルデータで

「lib-info@dpc.agu.ac.jp」まで応募してください。

※審査の結果、入賞者の方々には12月上旬に表彰式を開催し、合わせて氏名を本誌などで公表するとともに、作品を図書館内に展示します。

その他詳細については「図書館HP」などをご覧ください。

「図書館情報センター ブック・アピール・コンテスト係」までお尋ねください。

編集後記

「名は体を表す」という諺があります。辞書によると「名はそのままその実体を表す」「名と実は相応ずる」などと記載してあります、さて初号にもありますが、アシュバッタとは「菩提樹」の事を言います。今年度の編集を任された時このタイトルの意味について考えてみました。文字通り菩提樹下のお釈迦様のように「強い決意を持って」「菩提樹が日傘のようにやさしく」それとも全く違う意味なのか。このニュースレターがみなさんの菩提樹になればと考えます。今後の紙面をご期待いただければ幸いです。(大平)